

- 令和8年熊本地震による被災からの早期復旧に向け、熊本県からの要請を受けた国土交通省の災害査定官が被災箇所へ赴き、災害復旧の迅速化に向けた復旧方針・工法等の技術的支援・助言を実施
- 調査は熊本県宇城市、氷川町内の県管理橋梁、河川、道路の3箇所



緊急調査状況（植柳橋）



緊急調査状況（大鞘川）



緊急調査状況（小川嘉島線）

【被災概要】

- ・ 歩道橋の一部が落橋

【助言】

- ・ 落橋した橋の復旧に向けた留意点について、「破損していないように見える橋脚についても詳細調査を実施することが望ましい」、「落橋部分の撤去は、高度な作業となるため、事前に作業計画をしっかりと策定し、安全な施工に努めてください」など助言を実施

【被災概要】

- ・ 堤防の沈下、クラック等が発生

【助言】

- ・ 再度災害防止に向けた、設計の考え方について、「元の堤防高さからの沈下量を確認し、被災の範囲等を確定させてください」「地盤の緩みが確認される場合は地盤改良を検討してください」など助言を実施

【被災概要】

- ・ 道路に1m程度の段差が発生

【助言】

- ・ 道路復旧の高さの考え方について、「周辺宅地の復旧方針や上下水道との協調調整を踏まえ、復旧高さの考え方を整理してください」など助言を実施